

団体の紹介

「かた～ら」とは、マライ・ポリネシア語で「陽のあたる場所」と言う意味で、輝きたい人達が気兼ねなく集まっています。障がいのある人もない人も、子供たちも、若者も、主婦からお年寄りまで全ての人々が「共に元気に笑顔で暮らせる街づくり」を目指しています。

個人である市民より依頼されて、障がい者を受け入れています。その中でも身体障がい者が多く、精神障がい者は少なく、受け入れに苦労しています。



この団体が生まれた理由



平成 12 年刈谷商工会議所主導の中心市街地活性化プロジェクト一環の福祉・文化部門として、「5つの商店街」と「2つの文化施設」の公募で集まった市民グループにより、当初は15人程度でスタートしました。

5年間は社会福祉法人「ひまわり」と一緒に、まちづくり道路の作り方を考えてきました。

平成 14 年に発行した「刈谷のお出かけ便利帳」は、1年かけて作成しました。そして、平成 17 年 2 月 NPO 法人「かた～ら」を設立。障がいのある人もない人も共に元気に暮らせる「まちづくり」を実践し活動中です。

今までの活動内容と今後の課題

「かた～ら」では障がい者の自立支援として、大好評の「日替かた～ら定食」と「無農薬コーヒー」等提供しております。

また、利益分「15%の販売手数料」を頂きながら、ギャラリーとして、障がい者や授産施設の手芸品、昔懐かしの駄菓子の展示販売を行っています。

その他に交流コーナーを運営しており、月～金曜日まで毎日、ビーズ教室、ティッシュペーパークラフト、布ぞうり作り、マジック、パソコン初級講座などを開催しています。また、会議室の無料貸し出しサービスを行ったり、障がい者の作品を中心に、「絵画、書」など展示発表の場として利用しています。これらの管理運営は、全て障がい者が行っています。

最近の活動では、喫茶コーナーやギャラリーを継続しながら、刈谷市の様々なイベントや地元企業のデンソーのボランティア総会などで、おにぎりなどを出店販売しました。

愛知県からの委託でセミナー「心のバリアフリー」を開催し、その一環として、平成 20 年 11 月 29 日に映画会「ふるさとをください」を上映しました。

また、他の 2 つの障がい団体と協力して活動も行いました。

今後の活動として、デイケア事業者とタイアップして、食事などの提供も行っていく予定です。


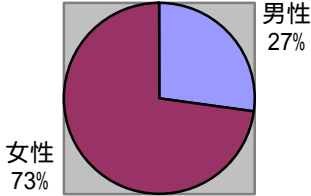
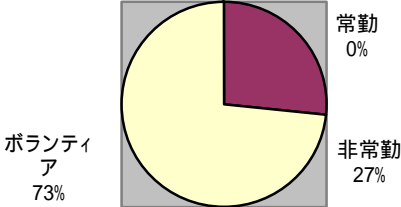
課題としては、NPO 法人の活動としては、収支決算が赤字になっている事（一般市民より寄付金が年 15 万円ほどを含む）、60 歳代の非常勤者ばかりで、助成金の手続きが大変である事などの改善です。

また、所在地の建物が「耐震構造の問題」で取り壊される予定だが、転居先が決まってなく、移転費用の面でも課題が残っています。

喫茶コーナーでは、障がい者が接客対応しているため、一般の利用者からの接客クレームが起りやすく、新規参加者への育成が大変という事も課題



の一つで、地域の人達に少しでも理解をしていただける様に努力をして、障がいのある人・地域の高齢者・子供がいて当たり前で交流できる場所を目指しています。

| | | |
|---------|---|--|
| 事業者名 | NPO 法人 かた～ら |  |
| 所在地 | 〒448-0842 愛知県刈谷市東陽町 3-30 | |
| 電話 | 0566-21-0058 | |
| FAX | 0566-21-0058 | |
| HP アドレス | http://npo-katarara.net/ | |
| メールアドレス | npo-katarara@katch.ne.jp | |
| 代表者 | 理事長 神谷 孝子 | |
| 参加者 | 計 22 名 中心年代 60 代 | |
| |  <p>男性 27%</p> <p>女性 73%</p> |  <p>常勤 0%</p> <p>非常勤 27%</p> <p>ボランティア 73%</p> |

(最終校正日時 2011/01/06)